



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：アブルゲイト外相及びソリマン GIS 長官の訪米 (5月27、28日付現地各紙)

27、28日付現地各紙は、アブルゲイト外相およびソリマン GIS 長官他の訪米に関し報じている。概要は以下の通り。

1. 訪米中のエジプト訪問団は、27日にアブルゲイト外相がクリントン米 국무長官と、26日にはソリマン国家情報庁 (GIS) 長官がジョーンズ大統領補佐官他米国政府関係者とそれぞれ会談した。また、ラシード通商産業・国内通商相は、米通商代表部代表、世界銀行総裁他と会談を行った。

2. アブルゲイト外相発言

- (1) クリントン 국무長官との会談の中で、ムバーラク大統領発オバマ米大統領への親書を手交した。親書では、パレスチナ独立国家樹立、イスラエル入植活動の即時停止を軸とする中東和平プロセスに関するエジプトの視点について述べられている。
- (2) エジプトは、米に対しパレスチナ問題の最終的解決に繋がる包括的で、バランスのとれた解決案の提示を求めている。
- (3) エジプトは、実行可能で迅速なパレスチナ問題の解決を希望する。和平プロセスは、限定された時間の中で実現されなければならない。
- (4) パレスチナ問題とイランの核問題は分けて考えなければならない。パレスチナ問題のシリアトラック、レバノントラックの解決も重要である。

3. ラシード通商産業・国内通商相発言

- (1) エジプトは、米からの援助というよりは米との戦略的貿易関係の構築を希望している。
- (2) ミニヤ県とベニ・スエフ県を Q I Z 協定の適用地域に含める旨米と合意した。エジプトは、将来的に同協定の適用地域拡大のために努力を継続する。
- (3) 今回の訪問中、両国間での貿易・投資のための戦略的参加計画について合意がなされた。この計画は、貿易手続きの簡素化、知的所有権、貿易、環境、労働、新エネルギー等に関する作業部会の設置を規定している。
- (4) 両国は、産学協同を通じた競争力強化に関する了解覚書に調印した。